

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	通信会社（営業主任）	お客様の様子	・デジタル家電に関する問い合わせが増加している。客の気持ちが上向きで、実際に量販店の売行きも伸びている。
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・2月の気温が高かったため、春物の動きは例年より早く、売行きも良い。売れている商品も実用品ではなく、アクセサリーを中心とした装飾関係である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今年はうるう年で営業日が1日多く、29日が日曜日であったことから来客数も非常に多いので、確実に前年をクリアする。うるう年の数字のマジックである。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・鳥インフルエンザとBSEの関係で、肉類の販売点数は3%ほど減少しているものの、暖冬で飲料等の売行きが好調であったことから、全体の点数は3%ほど伸びている。売上は前年の98%、3か月前と比べると3%ほど伸びている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・BSE、鳥インフルエンザによる食肉全般の減少は大きいですが、慣れもあるのか消費者の反応は冷静で、以前ほどの落ち込みではない。鍋食材が活発に動いており、食品の動きは良い。消費者の関心は防寒衣料から離れ、入園、入学、新生活関連の商品の動きが活発化している。依然として来店頻度が高いものの、客単価は落ち込んだままであるが、全体としては前年を上回って推移している。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・健康指向商品のカテキンが入ったペットボトルが好調であり、全体的に下落気味の単価を戻している。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・地上デジタル関連や、デジタル家電である液晶テレビモニター、プラズマディスプレイなどにより、単価が上がっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・2月は最後の1週間でばん回し、プラスに転じている。月初めはまだ不景気であったが、後半は人通りも増え、予約もかなり入ってきている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・売店、食堂部門に勢いがなく、客単価は前年比で250円下回っている。前年と比較して団体客の動きは弱いが、全体の入場者数は10%以上上回っている。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（事務長）	来客数の動き	・車検時に、部品代がある程度かかっても乗るという客が若干増加してきている。一般整備でも同様の客が増えている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・仕事量が前年より増加し、良くなっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年より多くの広告を出しているが、来客数は少なく、電話もあまりない。来街者が減少している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・業界では鳥インフルエンザが終息せず、他の地域でも発生しているような状況なので、周囲が良くなっても変わらない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・2月の外商売上は前年実績をクリアしたものの、店頭売上は90%がやっとであり、まだ上向きとはいえない。
		スーパー（経営者）	それ以外	・青果物の売上は依然として低い状態にあるものの、売上全体では前年を上回るようになってきている。売上、客数の伸びは総じて前月並みであるが、3か月前と比べると大型店閉鎖の影響で5%増加している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客は必要最低限の物以外は購入しない傾向にあり、客単価は伸びていない。
		コンビニ（店長）	それ以外	・うるう年による日数増加が幸いし、客数は前年の99%となっている。売上は96%と苦戦しており、この動きは12、1月と変わらない。
衣料品専門店（店長）		来客数の動き	・客単価が前年に比べ5%低下している。来客数は変わらない。	
家電量販店（店長）		競争相手の様子	・競合店では、プラズマテレビ、液晶テレビ、DVDレコーダー等、今売れ筋の商品が異常なほどの安値で売られている。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・前年同様に大型イベントを開催したが、前年の60%の販売台数しか売れていない。	
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・2～3月は一番の需要期であるが、1月に引き続いて来客数が減少している。		

		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・買上点数の伸びがない。必要な消耗品等のみを購入し、帰る客が非常に多い。
		その他専門店 [携帯電話] (営業担当)	販売量の動き	・期待されていた新商品が発売され、予想以上の売上となっている。
		高級レストラン (店長)	来客数の動き	・全体的に明るい兆しが見えるものの、極端に来客数が少ない日が数日間あり、結果的には変わらない。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・来客数の動きは良いが、宴会の予約が少なく、売上増にはつながらない。
		一般レストラン (業務担当)	販売量の動き	・例年2～3月は幼稚園、小中学校の卒業パーティーがあるが、今年の開催、予約状況は前年の50%程度に落ち込んでいる。一方で、企業関係の遅めの新年会、市内有力者の祝賀パーティーなどがあり、全体では前年並みの売上達成となっている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宴会が小規模になっているので売上が伸びない。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・名所の梅のイベントは日帰り客が多く、宿泊などでのホテルへの影響が少なくなっている。そのため、宿泊売上は前年比で1割減となっている。
		通信会社 (社員)	販売量の動き	・新機種が2種類発売されたが、新規加入数はそれほど伸びず、解約数が逆に多くなっている状況で、純増数は大幅に落ちている。
		観光名所 (職員)	お客様の様子	・来客数が少ない時期であるが、営業努力で前年並みの数字を維持している。客単価は低い。
		ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・2月は雪が降らず、人件費が節約でき、前年より来場者数が伸びている。ただし、キャディーをつけないセルフプレーが増加しており、客単価は下がっている。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・1月と変わらず、良くも悪くもない。不動産価格の下落、賃貸家賃の値下がりは依然として厳しい。
	やや悪くなっている	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・店の裏に競合店がオープンし、前年比5%減と苦戦している。
		コンビニ (店長)	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価の落ち込みが大きい。無駄な出費をせず、公共料金の支払だけを済ませて他に何も買わずに帰る客も多い。2月は特に厳しい。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・展示会を行なっても、販売量がそれほど増加せず、伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・客がいない。2月は昔から悪いと決まっているが、今年ほど悪いと感じたことはない。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・自己資金の多い客しか動きはなく、それ以外の客層は動きがない。
	悪くなっている	一般小売店 [家電] (経営者)	単価の動き	・デジタル家電は高価格で、まだ市民権を得るには至っていない。客もそのうち下がるだろうと購入を控えている。周辺で倒産、閉店が相次ぎ、商店街も歯抜け状態で、このまま寂れるのではないかと危機感を抱いている。
		一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・学生服を取り扱っているもので、季節柄売上が上がっているが、知り合いから調達して着回す人もいるので、販売量の動きは少ない。
		タクシー運転手	それ以外	・人通りが少なく、駅に電車が着いて人が降りてきても、1台もタクシーが動かない時もある。
		美容室 (経営者)	販売量の動き	・客の景気が悪化し、今まではシャンプー、セットを組み合わせていた客が、セットのみになるというような状態で、客単価が下がり続けている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	取引先の様子	・取引先の協力工場でも仕事を多く抱えており、当社の要求どおりの納期が守られない状況が多発している。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・小ロットでコストは安いものの、仕事が出てきている。
	広告代理店 (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・企業の販促ツール (チラシ、パンフレット、リーフレットなど) の在庫不足や、リニューアルに伴う制作依頼が増えてきている。事業所の再編や、販売/営業品目の追加や変更が目立つ。ただし、受注金額やロットは小さい。今まで節約していた在庫がとうとう底をついているようである。	

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は前年比114%と、1月に引き続き2けたの伸び率である。この2か月間は過去5年間で最高の数字となっている。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の設備投資計画が全体的に上方修正され、投資に意欲的な会社が増えてきている。また、多くの取引先で収益状況が改善され、活気が出てきている。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・過去の受注実績からみると、不景気などに意外と売れている商品があり、現在もその流れが続いている。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の予算消化で仕事量が多少増加している。また、地元銀行が破たんした影響で、地域の経済活性化のために公共事業費が追加されている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・依然として受注件数は少なく、価格が非常に厳しい。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会の来場者は前年の5%減、グループ全体での売上は10%ほど減少している。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・地元商店街は、大型店との価格競争、消費者の消費意欲の減退等で厳しい状況が続いている。ただし、節分などの季節行事関連の商品は売行きが良く、消費者はお金を持っていないわけではなく、節目には奮発しているようである。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、電機等の製造業からのコマース受注額は変わらないが、商業、サービス業からの受注は期間が短く、金額が小口化している。	
やや悪くなっている	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・低価格商品の動きはそれなりにあるが、国産100%の商品の荷動きは鈍ってきている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・今年に入ってから下がる一方で、月を追うごとに仕事がなくなっている。同業者同士での手伝い要請も全くない。当社も時間短縮をしないと立ち行かないところまできている。	
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・テナント内で、フロア面積の多くを占める飲食店が3月一杯で退去し、減収となる。後に入るテナントが全く見つからず、飲食店のテナント自体がかなり厳しい状態である。できる限り賃料は引き下げているが、未納やそれに近いテナントがいる状況が続いている。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・民間土木工事の見積を出したが、作業施行は自社内で行うから材料のみを購入したいといわれている。	
雇用関連	良好な状態	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年度末を控えた契約更新の季節であるが、期間延長が多い中、派遣スタッフ自ら契約終了を希望するケースが出ている。雇用環境、勤労意識の変化が、スキルアップをしながら収入と業務内容のレベルを上げるいわゆるアメリカ型や、働いて稼いだ後は自分の楽しみに費やすという自己実現型などがみられる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数が減少しており、前年同月比では14か月連続で減少している。この2～3か月は減少率も大きくなってきている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・管内主要産業である半導体製造装置、液晶製造装置、デジタル機器向けの電子商品、半導体デバイスがフル操業と好調で、求人も活発になっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業が好調でけん引しているが、企業の採用への慎重な姿勢は変わらず、派遣への期待が高まっている。正社員への道はまだ厳しく、離職者は派遣を考慮に入れないとまらない状況である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・機械、精密などの製造業や人材派遣などのサービス業等において、事務職の追加募集や欠員補充などを新卒採用で考えるなどの動きがある。例年のこの時期と比べ、求人数も20%程度増加している。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・数か月連続で地域の中途採用の求人倍率が多少上がっている。新卒者の採用数も前年より増えてきている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・1月と比べ、周辺企業からの発注状況があまり伸びていないので、変わらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告はほとんどない。また、周辺企業の倒産が相次いでいる。	

やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・電子関連等の生産が伸びていることから、かなり採用者数が増加している。住宅関連等の製造は下火で、求職者が増加しているものの、求人は少ない。物品販売等の卸が伸びるのはこれからであり、2月の全体の動きは鈍い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・小規模な特定貨物運送業や印刷業が相次いで倒産し、求職者が増加している。
悪くなっている			